



豊かで 住みよい 町づくり

上勝

Vol.

46

議会だより

2012. 8. 1 発行

2P 6月 定例会

4P 一般質問 7名が町政について質問

11P 研修報告 メルヘンの里 新庄村
ないものはない町 海士町

12P 研修報告 風車の町 東伊豆町

第4回 定例会

会期 11日
開会 平成24年6月12日
閉会 平成24年6月22日

主な議題

平成23年度一般会計補正予算専決処分承認(補正第8号)
歳入歳出を976万7,000円減額し、それぞれ34億954万円とする

全員異議なく可決

平成24年度一般会計補正予算の修正案
新しい公共予算1,000万円を減額修正する

質疑討論の結果 1対6で否決

平成24年度一般会計補正予算(補正第1号)

既定の歳入歳出予算の総額にそれぞれ1億324万7,000円を追加し、26億1,624万7,000円とする

質疑討論の結果 6対1で可決

平成24年度介護保険特別会計補正予算(補正第1号)

全員異議なく可決

平成24年度後期高齢者医療事業特別会計補正

全員異議なく可決

徳島県後期高齢者医療広域連合規約の変更

全員異議なく可決

訴えの提起(議案61号)

東京電力を被告とした賠償請求訴えの提起の撤回申請

理由 特別交付税で入金済のため

質疑討論の結果 6対1で可決

上勝町議会議員の報酬・費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例

質疑討論の結果 6対1で可決

常任委員会の閉会中の継続調査

全員異議なく可決

報告

寄付の申し立て

2件

主な討議

平成24年度一般会計補正予算

賛成

商店活性化事業は十分商店と合意形成ができていようである。新しい取り組みであり前向きに検討すべきである。

反対

商店活性化事業は計画がずさんで、補助金に飛びつくやり方に不安がある。補助金のある間しか続かないのでは、地元でショックを与えられる危険がある。

平成24年度

一般会計補正予算修正案

新しい公共の1,000万円を削除する

賛成

賛成討論なし

反対

この事業は共同店舗と宅配事業が一体である。地元商店にはいつまでもやってほしいが、後継者問題がある。山で暮らす年寄りには宅配が命綱である。町で

買い物をし、町に仕事を作り、コミュニティーを維持するため、この事業は必要である。

訴えの撤回

反対

筋を通して行政として、損害に対して賠償請求をして頂きたい。

賛成

損害に対し国から全額交付されたので、取り下げるのが正しい。

議員報酬・費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改定する条例

反対

委員会に対する費用弁償というのは全廃になってくるべきである。

賛成

特別委員会に関しては必要な経費が様々発生している。

平成23年度 一般会計補正予算 (補正第8号)

減額 976万7千円
総額 34億954万円

主な内訳

- | | | | |
|---------------------|-----------|------------------|----------|
| ● 財政調整基金積立金 | 4,000万円 | ● 県産材を利用した住宅の開発 | ▲407万6千円 |
| ● 菌床椎茸増産援農強化事業 | 1,101万3千円 | ● 家具等補強対策事業 | ▲410万円 |
| ● 菌床椎茸新市場開発・新技術開発事業 | ▲1,400万円 | ● 地域資源活用システム構築事業 | ▲357万2千円 |
| ● 耕地・林業用施設災害復旧費 | ▲1,000万円 | ● 緊急集落環境整備事業 | ▲206万5千円 |

平成24年度 一般会計補正予算 (補正第1号)

追加 1億324万7千円
総額 26億1,624万7千円

主な内訳

- | | | | |
|--|---------|--------------------------|-------|
| ● 農業振興費
新規就農者支援等 | 1,802万円 | ● 谷口大北推進協議会
補助金 | 336万円 |
| ● 地域商店活性化事業 | 1,000万円 | ● 集落再生情報発信用
スマートフォン等 | 300万円 |
| ● コミュニティ助成事業
(田野々だんじり備品・
自主防災消火機材)
(中瀬津除雪機) | 550万円 | ● 日々ヶ谷いきゅう茶屋
周辺森林整備事業 | 200万円 |

平成24年度 介護保険特別会計補正予算 (補正第1号)

追加 594万7千円 総額 3億6,908万7千円

平成24年度 後期高齢者医療事業特別会計補正予算 (補正第1号)

追加 46万2千円 総額 4,200万5千円



片山文昭 議員

東部広域農道の 今年度予算見通しは

問 今年度の予算は、
いくらになったか。

答 参事兼建設課長
全体で1億3,400万
円の割り当てがあった。

問 事業内容は、何処
に配分するのか。

答 参事兼建設課長
槻地と南岡間の早期完成
を図る予定。
ほぼ開通するであろう
と予想している。

答 町長 環境影響
評価書を
具体的に説明を聞いて、
非常に重要な水源なので、
いろんな観点から検討し
ていきたい。
影響がゼロということ
ではないと思うので、慎
重に勉強していきたい。

問 近年、集落間の連
絡道も増え、また、
道路の維持管理方法
等の見直しを

答 町長 やってみ
ないとわ
からない面もあると思う
ので、何らかの確認書な
り覚書なり、万一起きた
場合の対応に付いて検討
していきたい。

問 平成23年6月に回
答いただいた、紙
おむつ等の研究成果は上
がっているのか。
ごみゼロ達成状況は
改善したか

答 参事兼建設課長
財政当局等、及び町長と
も協議して、今後どうす
るかは決定したい。

問 燃料、機械の消耗
代として、1キロ
当たり幾らかの費用を、
管理している集落へ管理
費用として支給しては。

答 参事兼建設課長
路線の実情を確認し、町
道の維持管理方法を今後
検討したいと考えている。

管理する地域においても
高齢化が進み、管理でき
なくなっている。実態調
査をして見直ししては。

問 紙おむつ等につい
て、後発の市町村
が、再資源ごみとして取
り扱われているのは把握
しているか。

答 企画環境課長
NPO法人ゼロ・ウェイ
ストとも視察を行い、情
報を共有し検討を進めて
いる。

問 集落支援員を2名
配置しているが、
集落にどのような支援活
動をしているのか。

**答 参事兼
企画環境課総括**
集落の要請により会議に
出席、それと集落点検と
いうことで、集落地図、
航空写真を準備している。

一 般 質 問

町政を問う

6月定例会の一般質問には
7人が質問しました。



岩本文昭 議員

上勝町の防災関係全般について

問 近い将来、東南海地震の発
生が必ずあると言われてい
るが、本町にとり最も重要な施設
である役場本庁は築約30年が経過
しており、強度が心配されるが震
度はいくらまで耐えるのか。

答 参事兼総務課長
新耐震基準、建築基準法で改正が
あり56年6月1日以降の建物に適
用され、本庁は58年6月に竣工し
ており新耐震基準である。震度5
弱程度であれば建物の構造に損害
はない。震度6から7程度でも倒
壊してつぶれてしまう事はない基
準になっているが、裏山の崩壊等
外因の問題もあるのでは一概に何度
まで耐えるかは不明である。

問 震度7以上も予想され万
一建物に倒壊した場合役場には
住民基本台帳、契約書、戸籍等
重要書類が多くあるが保全対策は
万全か。

答 参事兼住民課長
戸籍のデータについてはすべて年
3回ハードディスク3本に格納し
て町・徳島地方支局・県外の法
務局支局に保管している。戸籍届
書等は専用ファイルに入れ、耐火
保管庫に施錠し保管している。住
民基本台帳は毎日バックアップデ
ータをテープに取り、耐火保管庫
に施錠して保管している。今後の
上勝町が被災した場合の対策は、
データを町外で保管する事を考え
ている。土地台帳の原本は法務局
にある。その他の書類はコピーを
取っていないものもあり、大災害
で庁舎が流失した場合は対応が十
分とは言えない。

問 災害が発生すると、早い段
階で対策本部の立ち上げが
必要になるが、庁舎が倒壊した場
合どう対処するのか。

答 町長 防災計画には災害
対策本部を置く
事になっている。町長も副町長も
出てこれない場合は、順次出てき
たものの中で最高の責任の地位に
あるものが指揮官になる。万一山
腹崩壊等で出てこれない場合でも
職員は自主的に参集しなければな
らない。役場には日直もあり、対
策本部が遅れる事はない。

問 対策本部の立ち上げが遅れ
る場合の消防組織、その他
の関係機関との連絡、連携は出来
ているのか。

答 町長 通常の風水害、火
災の場合は迅速に
対応出来ている。一番は地震等の
対応と思われるが、自身、家族の
安全、火災が出火しないよう、二
次災害が起こらないようにし、そ
の防災組織が最大の力強い組織と思
っている。無線等の連絡体制は十
分対応できる。常時、消防委員会
等で連携を密にしていきたい。

問 この問題については、すで
に徳島県全市町村で受け入
れ

答 町長 本庁の防災計画に
は災害対策本部は
役場に設置することになっている
が大規模地震により使用不能にな
った場合は、ただちに代替場所を
定め、職員及び関係機関に周知す
る事になっている。他の公共施設
の被災状況を総合的に判断して、
適切な場所に決める。

問 山腹崩壊、道路の寸断等で
役場職員、消防団の集結が
出来ない場合の対策は出来てい
るのか。

出来ない事が表明されているが、
改めて町長の考え方、町の方針を
うかがう。

答 町長 徳島県の公式見解
でも、県民の安心
安全を何よりも重視しなければい
けない。生活環境上、流出すれば
大きな影響のある放射性物質を含
むガレキを十分な検討も無く受け
入れは難しいとされている。本町
も県と同様であり、上勝町自体独
自の処理可能な最終処分場や焼却
場、資源化施設がなく、物理的受
け入れは困難である。

答 企画環境課長
本町には現実的に受け入れる施設
がなく受け入れは困難である。

問 町民の中には日本人として
未曾有の大震災を受けガレ
キの山の毒である、全国民が
分け合って処理してはどうかとの
意見もある。町長の考え方、町の
方針を広報等で知らせる考えはな
いか。

答 町長 本町には受け入れ
施設がないため、
説明の必要がないと思っていたが、
心配される町民がおられるとの
事で広報で周知する。

答 企画環境課長
町長の見解のとおり、広報での周
知検討する。

**上勝町単独土木事業費経費
について**

問 最近工事の数も少なく、廃
業される業者もでているが
土木事業費にのせている経費は何
パーセントか。

答 参事兼建設課長
上勝町の公共土木事業の積算は、
国が定めた諸経費率により算定し
ている。町単独事業の積算は、直
接工事費に町が独自に定めた3段
階の諸経費率により算定している。
諸経費率は公表していないので答
弁は控える。

問 他の市町村と比較して多い
のか、少ないのか。

答 参事兼建設課長
勝浦、佐那河内、神山、那賀の近
隣の町村を調査したが、どこも一
律何パーセント以内と言う回答で
あった。本町の場合、町単の経費
は少し率が低い状況になっている。

問 少し低いとの事であれば他
の市町村並みにしていただ
きたい。

ゆこう酢の消費協力について

問 依然としてゆこう酢の販売
に苦戦している。最近、農
協からゆこう酢をベースにした海洋
深層水入りのジュースが新発売さ
れている。それで生産者を少しでも
助ける為に町への視察者、お客さ
んの対応、会議等で使用して、消
費に協力をお願いしたい。

答 町長 本町の特産品であ
るゆこう酢について
は新工場もできておりこれにこれ
を販売するかが非常に重要である
会議、視察、来客時に優先的に使
うよう配慮する。町民あげてPR
するよう農協とともに推進して参
りたい。

答 企画環境課長
十分な削減効果が得られ
ず終了し、そのままにな
っている。



議員 功 市 武

道路交通網の整備促進による活性化策は 高知市、徳島市を結ぶ最短ルート構想の経過は

問 昨年議会で問われていた、上勝、那賀を結ぶトンネル構想、具体的にどう取り組まれているか。

答 町長 一昨年、計画の要望をしたが当時財政事情が厳しいとのことで良い答えが得られなかった。この構想を軌道に乗せるには高知県側との強い連携が必要と考えている。イベント等での地域間交流を深め連携し機運を高めていくべきだと思っている。

問 田野々、八重地間の改良計画と進捗状況は。

答 参事兼建設課長 現在、計画延長700m、起点、田野々橋上、終点、菅蔵、川端建設資材置き場地点を幅員5mで15車線化にする計画で進め、進捗状況は、詳細設計を終え、家屋、立ち木等補償物件の調査を実施し、

施し、用地、物件交渉を行い、早期に工事に着手するよう進めると県土整備局担当者から聞いている。

問 丸上木材より上手の幅員改良、商店住宅街渠道の改良は。

答 参事兼建設課長 以前から要望があったが、公園と現地が合致せず改良工事ができない状況であったが、原因が判明、県単独道路局部改良工事に対応することになると思うので、今後予算の確保を要望して行きたい。商店住宅街の改良についての計画はできていない。

自然エネルギー活用
の取り組み

問 計画されている風力発電、環境への影響はどのようなものがあるか。

答 町長 自然環境と人間の共生が必要と考えている。現在大川原高原に15基の風力発電があるが、住民からの大きな問題等の指摘はなかった。今回の風車は20基と大型になっている、環境影響評価がされることもあり、調査結果を見て専門家の意見も聞いて最終結論を出したい。

問 本町における自然エネルギー導入の方向は。

答 町長 小水力発電、太陽光発電が中心と考える。用太陽光発電が中心と考える。

問 太陽光発電への町単独での上乗せ補助制度は。

答 町長 7月より電力の買い取り価格が決まった。内容を分析しどう促進するか決定していきたい。具体案は検討ができていない。

初期防災組織への支援策
は

問 自主防災組織結成状況と活動内容は。

答 参事兼総務課長 町全体で13地区601世帯が加入、名単位、地区協議員単位で組織、町で行う防災訓練への参加、消火栓の確認や、地区によっては地域で防災セミナーの開催等されている所もある。

問 防災組織へ、町として指導育成等は。

答 参事兼総務課長 町が直接支援して育成して行く計画はない。社会福祉協議会が炊き出し訓練、応

急処置の講習等をされ、社協から訓練講習などの案内をしている現状である。

問 自主防災組織活動時の災害補償がない、ボランティア保険加入等への支援策は。

答 町長 いろいろなボランティア組織があり重なっている人もあり、他町村はどのような対応かも含めて検討する。

公平な新しい公共を望む

問 新しい公共、買物宅配支援事業の実態は。

答 企画環境課長 町内16店舗の内、4店舗、農業団体、3セク企業を含め6団体の参画で現在行っている。

問 新しく共同商店の開設計画とのこと。競合する商品等問題点もあると思う。又、実証実験後において補助金頼りの事業とならない展開を望む。

答 企画環境課長 すべての商店において反対意見はなく協力したいとの声、競合する商品等の懸念の声が多かった。出来るだ

け地域商店が参画しやすいシステム構築に向けて取り組んで行きたい。

問 地域農業活性化、人農地プランの周知策等は。

答 産業課長 8月にアンケート配布から始め、全地区プラン作成完了は26年3月を目標にしている。

問 青年就農給付金の受給対象者の要件は。

答 産業課長 45歳未満で独立自営者、5年後事業として生計が成り立つような計画、兼業の場合は、農業に150日以上従事、収入の半分以上が農業収入であること、年所得が250万円未満であれば対象、親元就農は就農してから5年以内に独立していなければならぬ。経営面積には規定はない、報告義務は7月末1月末の年2回就農状況報告義務がある。

☆上勝町での農業経営は厳しい環境と思われるが、自立して行ける農業経営者が増加し地域が活性化することを切望し質問を終了。
他に集落再生プラン等について質問。

風車の周囲3キロは人が住めなくなる？

渡部

得るものがあれば必ず失うものはある

町長

問 町長は風力発電が建つ予定と発言しているが、手続上はまだのはずだが内諾を与えたのか。

答 町長 環境影響調査が終

問 環境調査をしたところでもいろいろな問題が起きている。風車から3キロ以内は騒音被害とかが出ると思われる。

答 町長 これは自然環境と人の生活の調和と思っ

ている。得るものがあれば必ず失うものがある。失



風車建設予定地周辺

敗例は知っているが、環境調査をきちんとすれば問題ない。
風力発電の一番の課題は道路の幅で、カーブ等は修正しないと40mの羽根が運べない。

問 もし被害が出た場合には、撤去するよう協定書を取るか。

答 町長 私は風力発電について悲観的に考えてない。現実15基が大川原に建っているが、住民からの苦情は聞いていない。議員や住民から意見が出ているなら参考にした

い。調査も完了していない段階で意見を言うのは控

問 佐那河内村に眠れない人が出ている。ごみゼロをめざす町として、耐用年数が終わった後の大量の廃棄物が出ることをどう思うのか。

答 町長 眠れない人の名を教えてもらわないとわからない。
耐用年数は維持管理の仕方

で長持ちさせるのが重要だ。最終撤去は当然企業責任で行っていただく。

町立風車建設は？

問 ユーラスエナジーと別に町が風車を持つことは検討しているのか。

答 町長 上勝町の尾根筋上は環境条件が非常に厳しいのでリスクが大きい。ユーラスが具体的な計画を出した後に検討したい。

問 風車も騒音被害や鳥の被害の少ない新機種ができてつある。急がない方がいい。ダムなど巨大施設は問題を起こしてきた。自分たちの手に負える小規模なものを作る方が賢い。町民が納得できるように環境調査法以外の勉強会を開いてほしい。

答 町長 住民に説明をしてもぴんとこないのではないか。
計画は山の尾根筋で、人家も相当離れている。

ユーラスも適地だから来ている。私共も適地と想っている。
むやみに住人の不安をあおり立てることはすべきでないと感じている。

給食用放射能測定器の購入、山犬嶽保護、温泉のやな、炭の古道、災害支援協定についても質問しました。



明 本 恵 一 議員

町政に福祉と誠意を

問

県は小学6年まで無料化した。生じた原資で高校生まで医療費を無料化すべきだ。

答 住民課長

新たな費用は約72万円。

答 町長

今すぐは難しい。今後検討する。

問

新しいビジネス、もっと周知な計画で持続性のあるものを実施すべきだ。乗り合いタクシー無料化はボランティアタクシード、町営バスと競合する。持続性はあるのか。

答 住民課長

陸事の許可申請がまだだ。運賃はワンコイン500円。よい方向に行く。

問

新しい飲食業、喫茶業などはどうか。

答 企画環境課長

・石本商店（生実）が6月15日オープンした。
・古民家レストラン（八重地）集落再生ボランティアが改築中。
・神田茶屋は地域住民等がボランティアでつくる（集落再生事業より210万円交付）
・喫茶店業（福原平間）は全く個人経営だ。

問

ゴミゼロ・アカデミー研究費はゼロだ、これで2020年にゴミゼロにする事業は進むのか。

答 企画環境課長

資源化率は55%、前年比1%増で焼却ゴミ16トン節減できた。

問

若者定住について、町役場と住民の認識にギャップが大きい。地域をまわり説明せよ。

答 町長

緊急雇用・インターンシップなどの短期・失業対策が多かった。住民に誤解がある。広報で周知する。

問

剣山系など広域鳥獣害調査に中四国農政局が調査に乗り出した。国費で抜本対策をやるよう要望しては。

答 町長

7月24日に於いて、意見交換会がある。私が行って要望を出す。

問

役場前バス停の設置。調査し作ることにしていたが。

答 教育長

町当局と相談、検討する。

問

バイオの決算黒字は放射能オガ粉事件で「焼け太り」ではないか。

答 町長

株の売却、ホダ木の特注で黒字となった。累積赤字、債務超過で危機的状況が続いている。

問

オガ粉の返送を遅らせた社長の責任は。

答 町長

影山氏だ。影が悪いのではない。

問

地方自治法第232条に反してオガ粉返送費2,300万円は超法規的措置（違法）だ、社長と会長が共同して町に返せ。

答 町長

法律は、『第1項普通地方公共団体の事務を処理する費用』と、『第2項国が地方に処理を義務づけた場合の国の経費措置』となっている。住民の安心安全を守るための町費だ。違法ではない。

問

栽培農家がハウスに帰るようにすべきだ。ホダ木を町外に安く、町内では高く売っている、パッキング資材もよそと比べて高いと言われている。委託栽培料も安すぎる。新世の椎茸工場一貫生産をやれば農家はいらぬことになる。

答 町長

栽培ハウスに農家が帰ってくるようにする点は同感だ。秋頃にはホダの値下げが出来るよう検討中。

問

バイオの決算は粉飾決算だ。やり直しをとめる。

日本で最も美しい村連合の活動は

問

上勝町では「棚田」といふどりの2つの地域資源の登録とあるが棚田保全活動は基本的にどのようになっているのか。

答 町長

最初は檜原、昨年サミット後八重地、市野、田野々を追加指定、棚田は洪水調節や美しい景観を永遠に後世引継いでいけるよう、後継者の確保

問

上勝町全体の景観保全の位置づけは。

答 町長

集落再生の中で身近な景観整備から始めて地域の誇りにつながる意識醸成が必要であり、癒し場や交流、観光資源としての活用を進め、意欲が出る地域を集落再生支

自然エネルギー利用拡大は

問

太陽光発電の利用に関して、町の助成及び促進を計る考えはあるのか。

答 町長

この4月より買取り価格が決定している。各家庭も負担が増す。町内で普及がなければ負担だけ持つことになるので普及させる方法を考える。過疎債が適用出来ることになれば予算枠も取れる。早ければ、9月補正又は来年度当初予算で検討してみたい。

重要文化的景観の現状は

問

檜原地区に於ける重要文化的景観の1次申請の現況と2次申請の進捗は。



檜原地区道路管理出役

答 教育委員会事務局

文化的景観とは地域に於ける生活又は生業及び風土により形成された景観地で特に重要な文化的景観を選定。檜原地区の1次選定は平成22年2月22日、白鶴、福山、竹の前16ヘクタールが認定された。家屋については、6戸21棟、平成23年度推進事業では3戸7棟の外観補修整備工事を実施。24年度は家屋3戸5棟の外観について補修工事実施予定。2次申請については平成25年1月を目途に

第3セクターについて

問

各社の黒字決算の実情は。

答 町長

（株）かみかつ 当期純利益金額205万6円。
（株）上勝バイオ 当期純利益金額62万2548円。
（株）もくさん 当期純利益金額271万1487円。
各社共に非常に厳しい現状にある。

（株）もくさん素材部門廃止について

問

ラジキャリ購入決定後の素材部門廃止の具体的経緯は。

答 産業課長

県単事業平成24年度事業で素材部門の継続について交渉中であると聞いていたが、意外な展開となった。

第3セクター3社の改善提案の進捗は。

問

各社一つ取り上げれば、黒字化への評価課題は。

答 町長

（株）かみかつ については、薬草を利用した健康ツアー、新施設を利用した顧客サービス、映画「人生、いろいろ」をいかに活用するかである。
（株）上勝バイオについては、シイタケの品質向上、エネルギーの節減、人身体制の見直しを含め計画通り進めること。
（株）もくさんについては、社長の交替が2度あった。新しい公共工事本町の発注はなく厳しい。素材部門からの撤退も一考を要する。

研修報告

自立のまちづくりの課題と活性化施設等について
人口 1,031人 平成23年3月31日
過疎、辺地等指定村
海拔400～500m、山々に囲まれた高原状の村。役場にて、笹野村長・磯田議長他各議員の出迎えを受ける。役場担当者から、新庄村行政その他特徴・行事について説明あり。予算規模17億3,000万円。帰農体験活動・イターン、Uターン者によるハウストマト、スイートコーン栽培等、楽しさのある農業の取り組み、「加工・販売」等6次化を進め、特に水稲ヒメモチは稲作全体の70%を占め、昭和55年より栽培。反収480kg。昭和62年、団地化。平成4年道の駅に第3セクター加工所を設け、現在モチ加工所2ヶ所所有。
売上げ1億4,800万円、408万円の黒字決算。全国各地へ特別村民(200名)制度を募り、ヒメモチ発送中。
美しい村連合へは平成21年10月加盟。「誰が見ても美しい所



新庄村産直市

岡山県新庄村

平成24年5月7日

メルヘンの里 新庄村を訪ねて

を美しくする。」をモットーに取り組んでいる。
年間25万人が訪れる村、特に凱旋桜は有名で、町の大通りは美しく整備され、木製「ミ収納庫」は町にマッチし見事。
森や小川を利用したセラピー、自然を生活と憩に取り入れ、合併を見送った小さな村は生き残りの道を悠々と進んでいる。

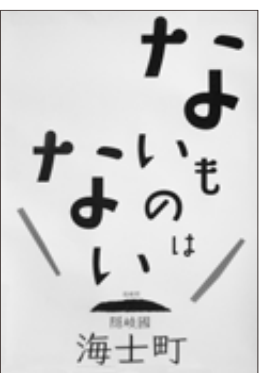
(松下)

島根県海士町

平成24年5月8日

なくてよい、大事なことはここにある

日本海の離島、フェリーで3時間かかる隠岐島の海士町は平成13年に101億円の地方債をかかえていた。公共事業のツケである。
平成14年の町長交替を契機に町は変わり始めた。経費の徹底削減。これぞという産業への思い切った投資、それを支える住民、そしてイターンの起用である。
5年間で120世帯、202人が移住、新しい産業には必ずイターンが加わっている、地元とよき者、これが活性の鍵だ。
しかしイターン者や三セクに甘い訳ではない。町が新しい事業の設備投資をした場合、国庫補助金以外の分、町費分は事業が赤字だろうが必ず使用料として取り戻す。厳しいのである。
町長が言った。「イターンは人生を賭けて海士町にやって来る。真剣だ。」
若者が島に暮らし続けるために、町にあった統廃合寸前の高校を甦らせた。「地域創造コース」と「特別進学コース」を開設、公営塾もオープン。全国から生徒募集、寮



海士町のポスター

費食費の補助、平成20年に27名の入学志願者数が24年には59名になった。
「子育て島」教育のブランド化を図り、子連れのイターン者の定住促進につなげてゆく。企業の社員研修、無人島4泊5日というものもある。美しい自然と最先端の教育、この2つが合わされば無敵だ。今後海士町はどんどん発展してゆくだろう。しかも美しいままに。
上勝町もイターンが増えて嬉しい限りである。しかし、まだまだ彼らを十分に活躍させ切っていない。地元で培われた知恵と新しい力が私達にも既にある。チャンス逃してはならない。
因みに、島には猪も鹿も猿もいないらしい。(渡部)

災害時の提携は



鹿島國男 議員

問 地震のときの姉妹都市はできているか。

答 総務課長

現在、町単位ではできていない。「日本で最も美しい村」連合の中で、災害時の相互応援協定を締結してはどうかという意見が出ており、進めたいと思っている。

問 ドクターヘリの運用は。

答 教育委員会 事務局長

9月と来年2月にパーティーを予定している。今年の5月17日に総会を兼ねて、徳島県婚活SNSアドバイザーの木村文江さんを講師に招いて研究会をした。11月頃にも予定している。

問 副町長と森特命参事の役割分担は。

問 婚活パーティーの実施は。

医師や看護師を乗せて救急現場に向かい、現地や機上で患者の初期治療を行う。ドクターヘリは、10月頃に県立中央病院に基地を置き、ヘリ要請を受けて、県内の大半を20分以内でカバーできる。要請の基準は、救急の搬送員や行政、消防員、消防分団となっている。

答 住民課長

答 副町長

森特命参事については、上勝町の持続的な地域社会づくりのリーダーとして、関係者等との連絡、意見調整、美しい町づくり基本条例の制定、過疎法の延長を見据えて、関係機関との意見調整、施策提案を行い、具現化すること。又、広域行政推進のための関係市町村と意見調整を計ることだ。
私としては、従来通り地方自治法第167条に定められた通り、事務執行を行うものである。

宅配事業はどうなる

問 新しい公共の宅配について。

答 企画環境課長

広報等に、チラシを折り込みながら宅配を進めているが、利用者が増えていないので、今後も地職住推進機構から家庭訪



地職住のカミカツマルシェ (新しい公共)

000円、21年度は386万7,000円、22年度は379万3,000円、23年度は393万2,000円となっており、本数自体は減っているが、税額は10万円前後の増減である。

答 産業課長

今回開発しているローコストの住宅は、坪当たり、単価35万から40万円で計画している。

問 認定農業者について。

答 産業課長

認定農業者になりたい方は、こういうことが必要ですと、指導ができるような仕組みを、様々な人と相談し考えていきたい。

答 税務課長

平成19年度は509万1,000円、20年度は402万8,

問 タバコの税収は。

問・広報・各名の会合でPRしたい。又、野菜の集荷販売、商品を増やし、ニーズに合わせた宅配を検討したい。弁当の宅配については、飲食業者さん等の衛生管理、法律上のいろんなことをクリアしなければならぬが、協議をしながら進めたい。

東伊豆町の風力発電の実情

静岡県東伊豆町

平成24年6月28・29日



放置された羽根

町設の風車のときは良かった。平成10年、一般財源530万円、補助金と電力事業債合わせて5億円で600kwの風車3本を建てた。海風を受け、周囲に民家もなし、売電益から年200万円程を家庭用太陽光パネルの補助にまわすことができる。しかし、平成15年クリーンエナジーファクトリーが1,500kw10基の運転をはじめから問題は起きた。眠れない、耳や頭が痛い、血圧が上がる等々、風車から900m以内の住人の80%が異常を訴えた。そんなはずがない、環境影響評価はちゃんとした、金が欲しくて

苦情を言っただろう、などと言われた。

しかし、住民の地道な調査の結果、やっと会社と町と住民の協議が持てた。会社側も騒音調査をし、予測の5〜18倍の騒音を測定。解決策として、3機を夜間停止し、又風速15mで運転停止、被害が半減した。全部なくなった訳ではない。会社は赤字である。実は故障で2機、止まったままである。修復も撤去もできないとのこと。風車の足元にはそれぞれ交換した羽根が置きっぱなしだ。管理者として地元の人を雇っているが、給料も停っているとのこと。

静岡県は風力発電に理解のある県である。今、東伊豆町と隣の境界の尾根にユースエナジー10基、東電11基の風車設置が決まっている。これでも東伊豆側は水源と民家への影響を考え、4基を減



風車風景

らしたのだ。

景勝地に風車は建つ。被害は建ってからでないとわからない。風車とその因果関係を明らかにするのは非常に困難であり、環境影響評価は不十分である。

町が自ら能力に応じた規模のものを建てるならうまく行くかもしれない。しかし、他の事業者が町内に大規模施設を建てて問題が起きた場合、町の権限で問題を解決するのは難しい。慎重すぎるに越したことはない。

(渡部)

編集後記

6月は毎年訪れる。露時雨がある。しかし、田植、そして稲の生育には恵みの雨でもある。今年は2つの台風の影響で全国的に大雨となった。自然も私達人間もほぼどが大変。心を引締めて自然との共生に努めたいものです。

そして7月になると上勝晩茶の出番となる。お茶の香りが風に乗って。

私達は8月の夏本番に備えて体調を整えましょつ。

(松下)

